“ユーザーファースト”で考える　課題の見える化と解決策の立案（4119312）

ユーザーのことを第1に考える“ユーザーファースト”による、問題分析～課題の見える化～解決のアイディア～システム化までの一連の流れを、現場で起きている事例をもとにワークを通して学びます。実際に手を動かすことで、“ユーザーファースト”を実現するためのツールや手法を使いこなせるようになります。
※解決策立案のための情報収集用に、PC、スマートフォン等を使用しても構いません。

開催日時	2019年8月28日(水) 10:00-17:00
カテゴリー	事業戦略策定・事業戦略評価　業務遂行スキル ヒューマンスキル
DXリテラシー	Mind(マインド・スタンス)：デザイン思考／アジャイルな働き方
講師	大脇斉 氏 （Ridgelinez株式会社　Technology Group ） 1988年　富士通株式会社入社。 2003年より、最新の技術・手法を実践し、社内に展開する業務に従事。 2013年　社内システム開発にアジャイル開発を採用し、自ら実践。その経験から得られた知見を活用し、社内へのアジャイル推進（講座開催、現場支援）活動中。その中でも、超上流からUX向上を目指した活動に注力。 2016年　認定スクラムマスター取得。 2020年 Ridgelinez株式会社に転籍。 2020年 SAFe Program Consultant取得。
参加費	ＪＵＡＳ会員/ITC：33,000円 一般：42,000円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み） 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	要求定義、企画業務に携わる情報システム部門、情報グループ会社の方 ユーザーが真に望んでいることを理解し、システム開発につなげたい方 初級
開催形式	講義、グループ演習
定員	20名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

ユーザーファーストとは、ユーザーの言う通りにする、ということではありません。
ユーザーにとって本当にためになることは何か、を常に考えることです。
本講座では、ユーザーファーストで考える事の意味、それをどのように実現するかを学び、
さらにワークを通して実践することで、ユーザーファーストの考え方を現場で活かせるようになります。

講義：
－なぜユーザーファーストなのか
－問題分析・課題の見える化の勘所

演習：
ワークでは、社内ヘルプデスクの問題を題材にし、ユーザーファーストを実践する上で
特に重要となる問題分析・課題の見える化を中心に進めます。
真に困っているのは誰か?、何に困っているのか?を明確にし、その問題に対する効果的
な解決策の立案までを体験します。
－ペルソナの設定
－カスタマージャーニーマップによる問題分析と解決のアイディア出し
－アイディアを実現するシステム化案